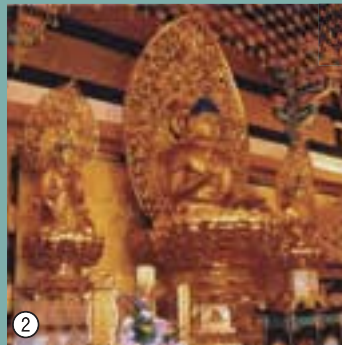
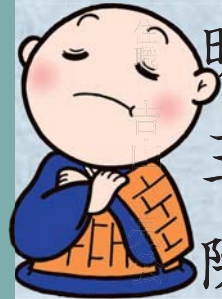


宗内寺院紹介 45

真岳山
大護寺

明王院



当山は伝教大師開基、慈覚大師中興と伝わる。往時は台密の道場として備陽の地の数百ヶ寺の末徒に伝法し法燈大いに耀いた。安徳天皇ご西幸の砌には鳳輦を当山に駐められ、永く御祈願寺として荘園数十町部を給せられ人法共に栄えた。

寛永十九年十二月十三日祝融の災あり、藩主池田光政の苛烈な廢仏毀釈が重なり、末寺の取り潰しなど寺勢著しく衰微する。この藩主の圧政に善処せんが為に、東叡山輪王寺宮守澄法親王の命を拝した天祐大和尚が当山第二十二世として入山され、辛苦經營して旧模の一部（現在の旧本堂、大書院、庫裡、鐘楼等）を復興される。

慶応三年王政復古に際し、延暦寺直末となる。古来灌頂の行われたる記録、論議の行われた記録等夥しく残る。主な伽藍として多宝塔、本堂、観音堂（日本堂）、大仙地藏堂、護摩堂、大書院、庫裡、照隅館（寺務所）、甘露庵（復興中）、仁王門がある。

開創以来千二百年、法燈伝わること三十九世。

①桜の頃の多宝塔 ②本堂のご本尊 阿弥陀如来と脇侍 ③冬の境内
④天台会法華八講 ⑤仁王門 ⑥本堂正面での採燈大護摩供

真岳山 明王院
大護寺

住所 / 719-0252 岡山県浅口市鴨方町六条院中4571
電話番号 / 0865-44-2207